

「逆指値」注文および「通常＋逆指値」注文機能のご利用について

本書面は、お客様が立花証券株式会社（以下「当社」といいます。）との間でインターネットを利用した取引（立花証券e支店取引）のうち、株式現物取引および信用取引において提供する「逆指値」注文および「通常＋逆指値」注文の機能（以下「逆指値等注文機能」といいます。）をご利用いただくに際し、あらかじめご理解いただきたい事項を記載しております。

お客様におかれましては、本説明書記載の内容を十分ご理解のうえ、逆指値等注文機能をご利用くださいますようお願いいたします。

1. 逆指値等注文機能について

- (1) 「逆指値」注文機能は、お客様が指定する逆指値条件の価格以下（又は以上）に市場価格（市場で実際に取引が成立した値であり、特別気配等の気配値は含まれません。）が到達した場合に、お客様が設定した成行または指値で売り（又は買い）注文を発注する機能です。
- (2) 「通常＋逆指値」注文機能は、お客様が指定する指値の通常注文が最初に市場へ発注されます。次にお客様の指定する逆指値条件の価格以下（又は以上）に市場価格（市場で実際に取引が成立した値であり、特別気配等の気配値は含まれません。）が到達した場合には、先に発注された通常注文から、お客様が逆指値注文として設定した、成行または指値の売り（又は買い）注文に訂正をして発注する機能です。（通常注文が全部約定した場合は、その後市場価格が逆指値条件に合致しても、逆指値注文が切替発注されることはございません。）

2. 逆指値等注文機能に関するご留意事項

- (1) 逆指値等注文機能を利用して、お客様が発注した場合には、あらかじめ設定した逆指値条件に到達した場合であっても、相場状況によっては約定しない場合もございます。また、相場の急激な変動等によっては、想定外の価格で約定する場合があります。
- (2) 逆指値等注文機能を利用して、お客様が設定された逆指値条件に到達した場合には速やかに発注しますが、お客様が条件設定を行い発注入力完了してから当社システムが市場に発注するまでの間にタイムラグが生じる場合があります。
- (3) 逆指値等注文機能を利用して、お客様が発注入力をされた時点で逆指値条件に市場価格が既に到達している場合には、即時発注が行われます。
- (4) 逆指値注文等機能において、後場終了時に逆指値条件に到達した場合や、前場または後場終了間際に逆指値条件に到達した場合には市場へ発注できず逆指値条件への切替失敗となる場合があります。「逆指値」および「通常＋逆指値」注文において逆指値条件への切替失敗となった場

合は自動的に取消となります。また、後場終了間際で逆指値条件への切替失敗となった場合には繰越処理において、注文期限日付きの注文の場合には翌日以降に繰り越されることなく失効となります。

その他、失効となるケースは、翌日に注文を繰り越す時点で値幅制限を超えた指値となった場合等、「通常」注文と同じ条件で発生します。

(5) 権利落ち（分割、配当落ち等）銘柄については、権利落ち日に基準価格が修正されます。基準価格修正後、逆指値条件に到達し、想定外の価格で約定する場合がありますので、権利落ち日をむかえる注文については、基準価格等を充分にご考慮の上、ご発注ください。

(6) 逆指値等注文機能は、お客様がインターネット回線を利用して、当社立花証券e支店取引画面から条件設定を行って発注する取引システムであることから、以下の状況が発生し、逆指値等注文機能が正しく執行されない場合があります。

①お客様がご利用のパソコン、インターネット通信回線等の不具合

②各証券取引所等でシステム障害により価格等情報の配信が遅延、中断、停止した場合

③各証券取引所等の配信データを受信して配信する時価サーバのシステム障害により価格等情報の配信が遅延、中断、停止した場合

(7) (6)の②～③に該当した場合、逆指値等注文機能による新規注文の受付を停止する場合がございます。

以 上